

(政務活動費用)

(様式1)

出張報告書

令和5年10月30日

釧路市議会議長 畑中 優周 様

会派名 自民市政クラブ

代表者名 草島 守之



次のとおり、政務活動費による出張を終えましたので報告します。

受命者	高橋 一彦、石割 宗仁、齋藤 賢之
出張先	北九州市
期間	令和5年10月24日～令和5年10月27日(4日間)
用務	全国市議会議長会研究フォーラムin北九州 出席
調査(研修)結果等の概要	別紙参照
備考	

- 注) 1 資料等がある場合、添付すること。資料は、事務局経由で会派へ返却するので、本出張報告書(原本)とともに会派で保管すること。
- 2 調査結果等の概要は、別紙による記載も認める。

**第18回
全国市議会議長会研究フォーラム in北九州**

テーマ 「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」

日時 一日目 令和5年10月25日(水)

二日目 令和5年10月26日(木)

場所 フォーラム会場 西日本総合展示場 新館

福岡県北九州市小倉北区浅野3-8-1

視察 地域資源を活かした観光誘客への取り組み

主催 全国市議会議長会

後援 総務省

参加者 自民市政クラブ

高橋 一彦
石割 宗仁
斉藤 賢之

第18回全国市議会議長会が福岡県北九州市に於いて、令和5年10月25日(水)、26日(木)の2日間にわたって開催されました。

本年4月には地方自治法の1部改正により、地方議会の役割及び議員の職務等が法律上明確化されるなど、多様な人材の地方議会への参画促進に向けた環境整備が進められています。

また、地方分権が進展し、自治体ごとに異なる自治事務を取り扱う時代に入った現在ではなお一層、首長の考えが自治体の政治行政に大きな影響を及ぼすようになったと思われまます。

その点でも首長の独断専行にストップをかける地方議会の意義はますます大きくなりますし、そのためにも多様性をもつ地方議員が必要だと言えます。

今回のフォーラムでは「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」をテーマとし、結果を検証し課題を整理した上で、今後の取り組みを考えました。

地方議会では多様な住民の意見を踏まえた活発審議が行われることが、投票率の低下にみられるように地方議会への関心や理解が薄れつつあるという指摘も多く、小規模な市町村を中心に、なり手不足が深刻化しているほか、議員の性別や年齢構成が偏っているという課題もあります。

これまでと違う新しいアプローチで住民の声を議会に反映させていこうとするのであれば、これまで議会に参画することが少なかった女性、若者、サラリーマンといった求層の参画が必要と考えられます。また、女性候補者にとっては、会議規則における介護、育児等の取り扱いの明文化のような制度整備が改善策として考えられます。若者についても、議員に関心を持つ層は一定数いるものの、決め手になるものがなかなかない状況であると思われまます。

各議会において、政策サポート制度の導入、夜間・休日議会の開催、オンライン、デジタル技術の活用など、議会運営の合理化だけでなく、住民目線で住民への情報発信にも積極的に活用していくべきと考えられます。

視察先

若松エリア 地域資源を活かした観光誘致への取り組み

北九州市の若松区に位置する若松エリアは洞海湾と響灘に囲まれた自然あふれる地域となっており、かつて石炭産業で栄えた都市空間として歴史的な価値もある地域です。

令和4年12月29日「汐入の里」が「SIOIRI」に名称を変更してリニューアルオープンしました。

平成16年4月1日、地元産の水産物を直販する物産館などを備えたフィッシャーマンズワーフ「汐入の里」が若松北海岸の「ひびき海の公園(マリンパーク)」内にオープンしました。

「汐入の里」は、物産館のほか、レストラン、ミニコンサート・結婚式場などに使用できるコミュニティーホールからなり、開業以来、多くの市民で賑わっています。

地域の農水産物の振興、都市と漁村地域の交流施設として核となる施設です。

レストラン

地産地消をコンセプトに若松の獲れたて野菜を中心としたビュッフェと脇田で水揚げされた多種多様な魚を中心とした海鮮丼、ここでしか味わえない物があり、食材のこだわりも大切にしています。

コミュニティーホール

海を望む独立型チャペルやガーデン付の広々バンケットなど魅力満載の空間を貸切にして、各種ブライダル、少人数から最大150名の披露宴が地元の食材を使用してできる。

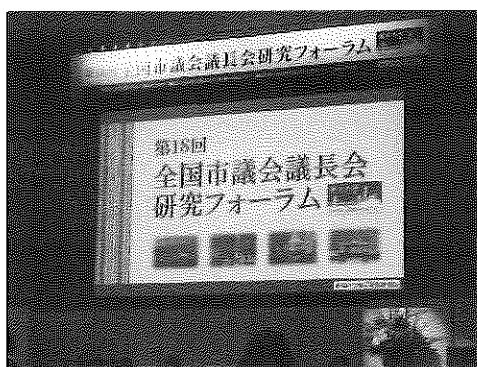
視察テーマ：第18回全国市議会議長会研究フォーラム 第1日目

視察場所：西日本総合展示場 新館

日時：令和5年10月25日（水）13：00～

報告者：石割宗仁

○基調講演：「躍動的でワクワクする市議会に」片山善博氏



13:00 開会式が行われ1時間の講演を行った。内容は地方議会改革の検証、議場の公開の場や税の議論をしない。さらに住民の声が聞こえないという3点を問題視され講演が開催されました。例えば議案を設けた時点で住民の意見を聞く、その意見を反映させ議会を公開し、多くの市民に見て頂くと市民も参加している状態となり活発な形になる。教育は国家の重要課題である、教育委員会に目を向け現行の議員の権限を活用し積極的に取り組むべき。不登校数は現在30万人であることが問題である。

○課題討議：「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」と題してパネルディスカッション



議員のなり手がいない、無投票、更には定員割れ。女性議員のなり手が少ない。この状態では議員選挙に対して市民の関心が無くなり、投票率が下がるという現象が起きる。小規模の市では、議員のなり手を確保するのが難しい。また女性議員に対してはハラスメントを受けやすく、パネラー女性議員はハラスメント相談センターを設けている。

視察テーマ：第18回全国市議会議長会研究フォーラム 第2日目

視察場所：西日本総合展示場 新館

日時：令和5年10月26日（木）9：00～

報告者：石割宗仁

○課題討議：「議員のなり手不足問題への取組報告」



政治の劣化が進み投票率が過去最低となっている。なお、新たな傾向もみられ、女性議員割合が増加し過去最高となった。市長村議会議員選挙では22.0%となった。4市区では女性銀の割合が50%を超えた。議員のなり手不足については、魅力の減退、条件の悪さとしては議員報酬の増額、議会事務局の充実や法律の縛りなどがあげられた。閉節な問題としては政治への関心の希薄化、人口減少、高齢化があげられた。また、議会・議員活動が伝わらないとの意見も出た。今後の課題としてはこれらをクリアしていき、フォロー体制も充実し議員のなり手を増やしていく活動を行い続ける必要がある。



畑中全国市議会副会長による閉会式での挨拶の様子。

視察テーマ：第18回全国市議会議長会研究フォーラム 第2日目 視察Kコース

視察場所：若松エリア 地域資源を活かした観光誘客への取組

日時：令和5年10月26日（木）11：30～

報告者：石割宗仁

○視察場所：フィッシャーマンズワープ SIOIRI、遠見ヶ鼻、高塔山公園、
若戸大橋、若松南海岸通り

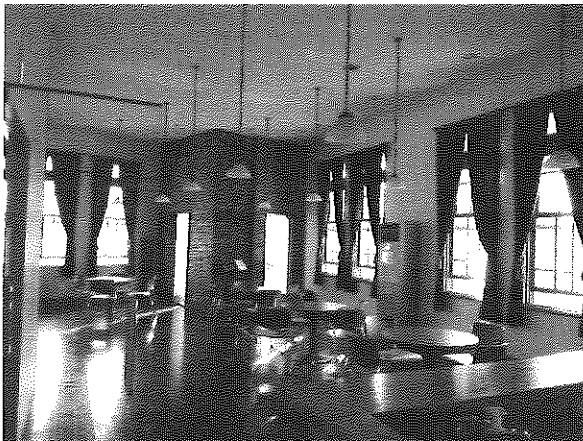


○フィッシャーマンズワープ SIOIRI
埋め立地に物産館やコミュニティホールを併設し交流施設として核となる施設です。しかし当市の MOO とは異なる施設でありました。



○高塔山公園

標高 124m の高塔山、日本夜景遺産として北九州市が一望出来、市民の憩いの場として位置している。訪問は日中でしたので、本当の夜景を見てみたかった。



○若松南海岸通り

大正期の建物群を中心とした近代港湾都市固有の帯状の都市空間で、散策の場として良好な場であり、たくさんの映画・ドラマのロケ地としても有名である。

【視察報告書】

第18回 全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州
～E コース 深い歴史を持つ製鉄のまち八幡と北九州産業～

日 時：2023年10月26日

視察先：官営八幡製鐵所、日本製鐵九州製鐵所、ゼンリンミュージアム

参加者：齋藤賢之

報告者：齋藤賢之（釧路市議会議員 自民市政クラブ）

内 容：

北九州市は、1901年の官営八幡製鐵所の創業以来、4大工業地帯として発展してきた。世界遺産にも登録されている歴史資源と現在も操業している製鐵所を視察し、「過去」から「現在」に受け継がれる北九州の産業について理解するとともに、現在唯一の産炭地である釧路の在り方を考える一助とする。

官営八幡製鐵所旧本事務所：2015年に国内で19番目の世界文化遺産として「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」として登録された。

日本製鐵九州製鐵所：明治34年の官営製鐵所操業開始以来、優れた鉄鋼製品群を誕生させ、日本の製造業を支えてきた。2020年4月からは「九州製鐵所」として新たな一歩を踏み出している。

ゼンリンミュージアム：“歴史を映し出す地図の紹介”というコンセプトの下、202年にオープンした。常設展示は3つのテーマ（世界の中の日本、伊能図の出現と近代日本、名所図会・観光案内図鳥観図の世界）、視察時には企画展「くきのうみ」近代産業をさせた北九州の港湾地図の展示が開催されていた。

